

第 1 3 回 東京都 テコンド - 選手権大会 要項

【 1 】 名称

第 1 3 回 東京都 テコンド - 選手権大会
- 第 2 1 回 全日本 フルコンタクト・テコンド - 選手権大会 出場選手選考会 -
(開催日 2 0 1 0 年 1 1 月 2 8 日 日曜日 午後 5 時 0 0 分 開始
会 場 後楽園ホール・東京ドームシティー内)

【 2 】 主催

東京都テコンド - 連盟 会長 盛島一盛
東京都品川区南大井 4 - 1 3 - 1 5

【 3 】 後援

日本テコンド - 協会

【 4 】 目的

- 1) ルールを尊ぶ J T A テコンド - の試合を通じて神奈川県民等の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) J T A テコンド - 愛好家の親睦を目的とする。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンド - を通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 第 2 1 回 全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会 出場選手選考
一部組手各階級優勝者及び準優勝者で 蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。
ただし、<イ> 各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、
審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない。
<ロ> 関東圏選手は、重要な組手総見 (1 0 月・1 1 月実施) への参加を義務付ける。
不参加の場合、例外なく、出場権を取り消す。
一部蹴武の型優勝者には全日本大会出場権を与える。
準優勝者は、選抜出場推薦候補とする。
本大会より少年少女部型試合を実施し、少年少女部全日本型チャンピオンを決定する予定である。
選抜選手は、1 6 歳以下とし、予選会や少年少女部型試合入賞者の中から選抜する。
上記の全日本フルコンタクトテコンド - 選手権大会出場者は、
有段者または 1 0 月末迄に昇段審査を受験し合格している者に限る。

【 5 】 開催日時

2 0 1 0 (平成 2 2) 年 6 月 2 7 日 (日) 1 2 時 0 0 分 開始 (早まる可能性有り)

選手集合・受付・計量 1 1 : 0 0

【 6 】 開催場所

BumB 東京都スポーツ文化館

東京都江東区夢の島 2 - 1 - 3 TEL (0 3) 3 5 2 1 - 3 5 0 6

- 電 車 ●JR 京葉線・地下鉄有楽町線・りんかい線「新木場」駅下車、徒歩 1 0 分
●地下鉄東西線「東陽町」駅より都バス「新木場行」で「夢の島」下車、徒歩 5 分
- 自動車 ●首都高速湾岸線東京方面からの場合
新木場出口より直進、最初の信号 U ターン、夢の島交差点右折、1 つ目の信号右折
●首都高速湾岸線千葉方面からの場合
新木場出口を出て夢の島交差点を右折、1 つ目の信号右折

【 7 】 参加資格

JTA 有級者 (黄帯・7 級以上)、有段者。

健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。
一部組手および型は、赤帯～有段者。制限無し。
ただし、J T A 黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
一部蹴武型は、赤帯～有段者。
J T A 黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
二部組手は、茶帯～有段者。
または過去の各種大会で入賞経験を有する4級以上の有級者。
二部蹴武型は、有級者。制限なし。
三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。
少年少女部四部組手および型試合は、黄帯～黒帯。制限なし。

【 8 】 試合種目・表彰

1 一部フルコンタクト・テコンドー組手試合

1) 無差別級組手

優勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第21回全日本F T大会出場権を与える
準優勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第21回全日本F T大会出場権を与える
三位：メダルと賞状

2) 女性無差別級組手

優勝：大メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第21回全日本F T大会出場権を与える
準優勝：大メダル、賞状
三位：大メダルと賞状

2 二部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

軽量級(63kg未満) ~ 優勝、準優勝、3位(1名):メダルと賞状
中量級(70kg未満級) ~ 同上
重量級(70kg以上) ~ 同上
女性無差別級(胴防具着用) ~ 同上

3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

軽量級(60kg未満) ~ 優勝、準優勝、3位(1名):メダルと賞状
中量級(70kg未満級) ~ 同上
重量級(70kg以上) ~ 同上
女性無差別級(胴防具着用) ~ 同上

4 四部 J T A 少年部特別ルール組手

少年少女部(小学校低学年1~3年生男女混合) ~ 優勝、準優勝、3位(1名):メダルと賞状
少年少女部(小学校高学年4~6年生男女混合) ~ 優勝、準優勝、3位(1名):メダルと賞状
中学生男子無差別級(希望者は女子も参加できる) ~ 同上

二、 蹴武型試合(全種目男女混合)

1、 一部蹴武の型試合(中学生以上の有段者・茶帯)

優勝、準優勝者：メダルと賞状

2、 二部蹴武の型試合(有級者。中学生参加可)

3、 三部少年少女部(有級者・有段者)

小学生低学年(3年生以下。未就学者可) ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状
小学生高学年(4年生~6年生) ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状
中学生 ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状

- * 組手および型試合はいずれの階級もエントリ - 選手が
6名以下の場合、最も近い級と統合する。
7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない。
32名以上の場合、3位決定戦は行わない。3位は2名とする。

【9】試合ルール等

一、組手試合ルール

1、試合ルール

1部 新JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美FWILLルール）

2部、3部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

少年部特別ルール

JTAライトコンタクトテコンドー・ルール。

ただし、失明等の事故防止のため顔面への攻撃は一切禁止する。

ヘッドギアと胸防具を着用しなければならない。

2、試合時間、判定基準等

1) 試合時間

1部本戦 2分1R。

延長戦2分（2R迄）。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2部・3部本戦 2分1R。

延長戦2分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

4部少年部本戦 1分1R。

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点2、又は注意6で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

3、その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

二、蹴武の型・試合ルール

選手は、蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。

トーナメント勝ち残り方式とする。

男女混合、有段者・有級者混合とする。よって有段者と有級者とが対戦する場合もある。

3名の審判が、旗（青もしくは赤）を上げて勝者を決定する。旗が多く上がった方を勝者とする。

各審判は、引き分けを宣告できる。その場合、延長戦（1回のみ）を行う。

延長戦の場合、審判はいずれかを勝者と認定しなければならない。

選手は、延長戦の場合、蹴武の型を変更できる（同じ型でも可）。

延長戦での変更した型は、成功すれば、判定上、有利になる場合がある。

たとえば、A選手が型を変更し、B選手が同じ型で延長試合を戦ったと仮定する。

いずれも成功し、甲乙つけがたい場合、A選手が2つの型を修得したという事実は、それだけB選手よりも練習をしている（=努力している）とみなせる。

また、延長戦での複数の型の実演は、失敗するリスクも高いので、それを克服して成功させたとい

う精神性も評価できる。よって、この場合、審判は、A選手を勝者と判定する場合がある。

【10】大会出場申込

2010（平成22）年6月14日迄（当日消印有効）

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手 & 蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00100-5-568263

〔名義〕 東京都テコンド - 連盟

2、申込書送付先

〒140-0013

東京都品川区南大井4-13-15

東京都テコンド - 連盟 御中

【11】大会役員

大会名誉会長 河 明生 大会会長 盛島一盛
実行委員長 武田敬之 審判部長 仮屋山敏志
審判 仮屋山敏志、吉川真、小川浩平、坂口好生、井上哲朗、尾崎圭司、他
司会・佐藤裕樹、試合進行・西谷信一郎、他 賞状執筆・薮内晴美 医務救護・岩下徹

【12】注意事項

試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
所属クラブ長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
各種保険証の現物を持参して下さい。
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、
各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
東京スポーツ文化館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各クラブは「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを
義務づけます。また東京スポーツ文化館内は禁煙です。
ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
東京スポーツ文化館および大会主催者は一切責任を負いません。

【13】観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。ただし、大会関係者の指示に従ってください。
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。
武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

